

鹿ノ台川柳教室 十二月度句会

十二月十八日(月) 西集会所

席題 「一列」 橘 正清選

難民の列が我が身をグサリ刺す 千 楽
 年末のデパ地下何処も列が出来 登 美
 幹事さんいつも序列で悩んでる 幸 男
 おいしいと評判が立ち列をなす えいじ
 大志ある蟻は列からそつと出る 良 一
 ジャンボくじ行列作り買う平和 アキラ
 遅刻して最前列に座らされ よう子
 列乱す快感知った鴨一羽 広 子
 ⑨年老いて列をみだしてばかりいる 勝 利
 ⑩一列に並べば前がよく見えぬ 正 清

宿題 「宝くじ」(連記) 坪田登美選

夢をみる時間買うのよ宝くじ よし尚
 ジャンボにも見放されての年の暮れ よう子
 億の夢買ってみようか定年後 広 子
 宝くじ当った夢も見なくなる 義 雄
 宝くじ当らぬという賭けに勝つ 乃 子
 当りくじ何時も一割戻りくる 幸 男
 挽回を狙うジャンボが返り討ち アキラ

宝くじ買っていないのに当たる夢 えいじ
 十億が入る金庫を買って待つ 正 清
 何度見た家族そろって宝船 哲 子
 宝籤当たってからの世間の目 良 一
 工面して買って当らぬ宝くじ 勝 利
 当りクジ二度も三度も見なおして 春 代
 宝くじ捨てる勇気が少しいり ミノル
 宝くじ死への旅路に買ってみる 宏 樹
 ⑨アブク銭の億を抱いて寝ています 千 楽
 ⑩宝くじ当るはいつも夢の中 登 美

宿題 自由吟(共選) 林 勝利選

年の瀬はあれもこれもと気が走る 哲 子
 私には過労死はない救急車 幸 男
 坂の街昔自慢で今しんど よし尚
 カネじゃない翔平は行く二刀流 千 楽
 百均で精一杯と飾る妻 幸 男
 居る場所を探してやつと半畳間 正 清
 大吉が出るまで粘る母米寿 広 子
 タガ緩んでないかメイドインジャパン 千 楽
 踏まれても頭もたげる麦になる 良 一
 追い抜けば幅寄せされる恐い道 義 雄
 来る年へ笑いの袋補修する よう子

綴じ蓋にもちよつぱり穴があいてきた
 向かい風帰路は私の背中押す
 かじかむ手 手より寒いは世間の目
 ⑤ 誠実な恋は出来ない渡り鳥
 ⑥ 野放図に広がる偽装歯止めなし

宿題 自由吟（共選） 笹倉良一選

つながりには年賀状だけ止められず
 追い抜けば幅寄せされる恐い道
 タガ緩んでないかメイドインジャパン
 居る場所を探してやつと半畳間
 綴じ蓋にもちよつぱり穴があいてきた
 王室もついに人種の壁破る
 神の元血の結末で幕下ろす
 カネじゃない翔平は行く二刀流
 野放図に広がる偽装歯止めなし
 AIで結論だすな俺はオレ
 来る年へ笑いの袋補修する
 角界のリンチに近いかわいがり
 誠実な恋は出来ない渡り鳥
 向かい風帰路は私の背中押す
 ⑤ まぶしさの千手の形花の中
 ⑥ 踏まれても頭もたげる麦になる

よう子
 アキラ
 春代
 広子
 勝利

乃り子

義雄

千楽

正清

よう子

登美

哲子

千楽

勝利

よし尚

よう子

登美

広子

アキラ

正清

良一

宿題 お題「優しい」（互選）

② 優しさを今わのきわに置きみやげ
 亡き夫写真の中の優しい目
 優しさに身構えるくせやめといて
 優しさを糊代にして人の輪を
 優しさに絆され今日も生きている
 親心優しさあだに子はぐれる
 ③ 優しくてなお優しくて祖母は逝き
 終活で優しく生きて天国へ
 優しさをもてあましてるデイケア―
 ④ 穏やかな論し思わず涙する
 募金箱街は優しい人ばかり
 優しさと心配りで誤解され
 修羅場でもまああるい声が収めます
 優しさの裏に隠れる心読む
 優しくて気がききすぎて便利屋に
 ⑤ 目が語る柔和な中の強い意志
 優しさもいつまでもつか介護戦
 ⑥ 何かある妻が私に敬語など
 やさしさが死を招いたと通夜の客
 ⑦ 優しさを嘘と知りつつ騙される
 ぎこちない優しさで押す車椅子
 ⑩ 歳月が優しい皺にしてくれる

正清

春代

広子

義雄

勝利

登美

ミノル

宏樹

広子

千楽

良一

乃り子

千楽

幸男

よし尚

哲子

登美

アキラ

哲子

勝利

乃り子

よう子

鹿ノ台川柳教室 会員の各紙掲載句

(十一月二十一日〜十二月十七日掲載分)

朝日新聞 田中新一選

十一月二十三日 題「飢える」

飢えている指がスマホを掻き巻く

奥村義雄

毎日新聞 山田順啓選

十一月三十日 題「リボン」

蝶結びされた未来が出番待つ

澤山よう子

十二月七日 題「言い訳」

逆上り出来ぬ子西日まぶしいと

勝部乃り子

十二月十四日 題「寿司」

出しゃばる具は入れない母の五目寿司

野々村アキラ

江戸前が世界になじむ寿司となる

林 勝利

寿司の日にキャンペーン無き悲しさや

前田幸男

奈良新聞 居谷真理子選

十一月二十二日 題「種」

後ろから笑いこらえて見る手品

野々村アキラ

種しかけあって夫婦も回ってる

勝部乃り子

種は尽きまじオバチャンの立ち話

五十嵐千楽

十一月二十九日 題「許す」

夜は明ける人憎んでも許しても

澤山よう子

あの人へ許されません独裁は

前田幸男

許し合い支え合い行く林住期

野々村アキラ

演技はともかくルックスはいいから

五十嵐千楽

十二月六日 題「こつそり」

頂いた商品券を現金化

野々村アキラ

ジャンボくじいつもと違う駅で降り

播本英二

十二月十三日 題「弱点」

孫生まれ弱点さらにひとつ増え

播本英二

弱点を認めぬ弱き頑固者

前田幸男

不都合なことは途端にモゴモゴと

五十嵐千楽

奈良新聞

十二月十四日 藤原一志選 自由吟

心の壁のばせば温い近所の灯

澤山よう子

徒花を造花にするという意見

橘 正清

句会参加者、新聞各紙の投句で活躍中。

*今年はずり多い年に。十月の幸男さんに次いで、

十一月に見学した女性二人が参加。

互選で飛び出すいろんな異論や、反論に目を

シロクロと。収穫があったようだ。
一緒にワイワイ、ガヤガヤやりましょう。
一月から、男性一人が加わる見込みで楽しみだ。
今月から新しい試み。各新聞に掲載された句を
一挙大公開。メンバーの日ごろの努力が一目で。
PC入力のアキラさんのアイデア。
努力に一同大感激。*

次回一月八日、十一時、西集会所。句会終了後、新年会。
宿題のお題、「ひらひら」、「叶う」、「自由吟」。各二句。

*「ひらひら」は連記で一枚の短冊に二句とも書く。

*「自由吟」は選者二人の共選、二部提出のこと。

当日席題あり。十時三十分、「お題」発表、

出句は、宿題十一時、席題十一時十五分。

老後の趣味に、川柳はびったり。

紙と鉛筆でOK。

川柳で生活を見つめてみませんか。

句会見学、ご入会大歓迎です。

ご連絡は左記まで。

問合せ

五十嵐修（79・0751）、原広子（79・0061）